

## TIMEKEEPER(計時委員)

私の担当は、トランスポンダという計測器を使って、全レースカーのラップタイムデータを収集する仕事です。車両がコントロールラインを通過すると、トランスポンダはそのラップタイムを計時室に送信し、そこで我々が集計してイベントの公式結果を発表します。

また、審査委員会がプラクティスまたはレース中に課したペナルティを認定順位に適用することも担当しています。この分野の仕事は、レギュレーションに関する十分な知識と、セッション中に発生したすべてのインシデント(事件)をフォローする能力が求められます。

タイムキーピングは、このスポーツの柱のひとつであり、その一端を担えることを嬉しく思っています。

### スキル(必要技能)

- ・数字に強い
- ・競技規則の知識と解釈
- ・マルチタスク能力
- ・長時間集中できる能力





氏名

薦田美香(コモダ ミカ)

仕事の肩書き

計時委員

所属団体

一般社団法人日本自動車連盟(JAF)

### ▶ 初めてのモータースポーツ体験

学生時代にお付き合いしていた方がアマチュアレースに参加していたので、レース場に応援に行きました。それ以来、観客としてだけではなく、レースチームのサポートをするなど、徐々にモータースポーツに関わるようになりました。やがて私は、レースは主催者やオフィシャルがいなければ成り立たないことに気づき、レース運営側に興味が移っていきました。モータースポーツでは、レースコントロール担当や審査担当など、さまざまな役割を経験しましたが、私が最も好きなのは計時です。

### ▶ あなたにとってのモータースポーツとは

レースオフィシャルである事は私の人生に欠かせないものであり、モータースポーツは私のアイデンティティを形成しました。自由な時間や週末を使って、なぜこのスポーツに没頭するのかと聞かれることがあります。本当のところは、このスポーツこそが私のライフスタイルを変え、困難な人生の転機においても成功と喜びをもたらしてくれたのです。海外のオフィシャルやプロモーターとの出会いや彼らと交友関係を築くことは、計り知れないほど貴重なものです。国境を越え、レースで同じような関心を共有できることはモータースポーツの醍醐味だと思います。

### ▶ あなたのキャリアのハイライトを教えてください

審査委員がレース週末にかなり多くの抗議やペナルティに対処しなければならず、多くのペナルティを科したイベントがあったことを強く覚えています。複雑なペナルティを適用した後、公式結果を正しく伝えることに大きなプレッシャーを感じました。2018年のFIA WEC 富士6時間やトヨタ・ガズーレーシングGT86のようなイベントで、そのような大きな責任を負うことは、間違いなく私のレースキャリアでのハイライトの一つでした。

### ▶ モータースポーツを仕事にしたいと考えている女性にアドバイスをお願いします

これからのモータースポーツには、女性のオフィシャルが欠かせないと思います。私たちは細部にまで注意を払うことができます。私たちは、異なる角度や広い見方で課題を評価し、対応します。モータースポーツは間違いなく私たちを必要としています！私は、もっともっと多くの女性がモータースポーツに参加することを願っており、それが彼女らに喜びと大きな責任感をもたらしてくれると心の底から信じています。